

麻布幼稚園だより 6月号

平成28年5月31日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

「 保護者・地域とともに 」

園長 大島 美知代

本園ではPTA活動が順調にスタートし、園の保護者代表としてPTA役員さんが積極的に仕事を行ってくださっています。4月のPTA総会を皮切りに仕事がスタートし、役員会も2回終わりました。会計さんはPTA会費の納入に関して、書記さんは麻布幼稚園の在園児、教職員を紹介する「あざぶっこ新聞」の発行を、そして学級さんは親子遠足の保護者親睦ゲームの音頭取り、など、責任をもって進めてくれ、大活躍です。

7月の夏祭りに向けて、係がリーダーとして動き始めました。PTA会費を使って園児に日本の伝統文化を体験させ、楽しませたいという思いと、「振興対策費」という公費も活用してたくさんの地域の未就園児親子に遊びに来てもらいたい、本園の良さをアピールしたい、本園の様子、園児の成長を見てもらいたい、という思いから、準備が順調に始まっています。

先日「港区立幼稚園PTA連合会」の総会・交流会に出席しました。港区立幼稚園PTA連合会＝幼P連では各園のPTA会長が集まり、12園の活動の情報を交換したり、協議したりしています。幼P連では、「幼稚園と、会員である保護者が協力して「子どもの健全な育成をはかる」ことを目的として、連携を深める場をもったり、互いに学び合ったりできるようにPTA会長が連携して仕事をしています。私は12園の会長さんの熱い思いと12人の連携力の強さを感じました。この会で武井区長は「教育の港区」としての政策を推進していることをお話してくださいました。幼稚園では園児の数が増加しています。3歳児保育や子育てサポート保育も始まっています。私は、『港区は「子育てしやすく、子どもが育つ』と言われるように幼稚園と保護者で頑張っていかなければならない、と強く感じました。

本園では今後も引き続きPTA活動を充実していきます。また、PTA活動だけでなく、様々な活動を保護者・地域とともに連携して展開していきたいと考えています。

6月から「みなエコ」(エコの教育)の活動として保護者と共に活動をしていきたいと考えています。今年度「みなエコ」のテーマは「保護者・地域とともに」です。保護者が幼稚園での活動に共鳴して一緒に活動することが子どもにとって、とてもよいことだと考えているからです。今後ともご協力をお願いします。

今年度の園内研究会・アカデミー研究会の紹介

園内研究テーマ:「心も体も弾み、生き生きと活動する幼児の育成—運動的な遊びを通して—

今年度からオリンピック・パラリンピックに向けて教育も始まっています。年長組は「運動能力の測定」を行います。幼稚園ではいろいろな体を動かして遊ぶ活動を取り入れ、子どもの運動遊びの取り組みの事例をとり、研究を進めています。体を動かす遊びが大好きになって、子どもの体がますます丈夫になることを目標にしています。いろいろな楽しい運動遊び、親子でもできる遊びを考えています。保護者の皆様からも楽しい遊びのアイデアがあったらぜひ教えてください。

六本木アカデミーの研究テーマ:「自分の考えをもち、表現し、伝え合う子供の育成」

5月21日には六本木中学校、5月28日にはアカデミーの小学校で運動会が開催されました。中学生も、どの小学生も一生懸命に仲間と力を合わせて取り組む姿を見せてくれました。

6月には同じアカデミーの東町小学校の授業を参観します。幼稚園から進級した1年生の様子、上学年の様子を参観し、就学前教育の重要性を考え、自園の教育内容を振り返ってみようと思います。